

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室「きらり」円座校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援スペースが広い	危険がないように毎日の清掃や消毒、必要に応じて配置の設定を変更している	広いスペースの中でも怪我がないように設備管理や支援具の充実を図る
2	お子さんのペースや気持ちに寄り添いながら保護者様のお話も取り入れつつ支援を行っている	来所に慣れていないお子さんに関しては、担当を固定して安心できる環境を作ったり、利用予定の聞き取りの際に家族支援を取るかの聞き取りを行ったりしている	家族支援の希望がある方には月初に予定の聞き取りの徹底を行う。また、お子さんのペースに合わせるように努めている。
3	子どもサポート加算や家族支援を積極的に行っている	積極的に支援の見学をしていただきながらご家庭での様子を教えていただき、家族支援を行い、児童発達支援管理責任者とゆっくり話せる環境を作っている	お忙しい保護者様には聞き取りが行えていないこともあるため時間を作れるところで定期的に話が聞ける環境を作る必要がある

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングやイベントが少なく、事業所内で完結しているイベントことが多い	イベントの開催が少ないことや一部の利用者様からの提案となってしまうこと	父母の会や地域の交流イベントができるようにイベント企画をしていく必要がある
2	避難訓練等必要な情報を事業所内で行っているが、保護者様へ伝わっていないこと	月に1回、個々の利用者様に避難訓練をすることを伝えて実施しているが、していない方もおり避難訓練を実施したことをフィードバック時にしか伝えていないため周知される機会がない	避難訓練を実施したことを分かるように掲示を行う
3	マニュアルや個別支援計画等の書類の説明不足	契約時や更新時に説明を行っているが、同意の確認が甘い時がある	一方的な説明にならないよう、丁寧な説明を行い同意を得られるようにしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」円座校

公表日 2025年 1月 14日

利用児童数 38名

回収数 38名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	3	0	0	個室のようなスペースもあるので落ち着ける	広く使える支援スペースとなるように配置等の整備を心がけます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	4	1	1		この事実受け止め採用担当の職員に安定した職員配置ができるように依頼します
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	4	0	0		支援環境については、毎日の清掃と適宜配置検討を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	33	3	1	1	いろんな年代が過ごさせているので配慮していただいて、ありがとうございます！ ボール遊びには通じてない広さだと思う。	同時帯に児発の方から放デイのお子様までいらっしゃるため危険については気を付けてまいります。ボールあそびに関しては、その場での状況やお子さんとの兼ね合いを見ながら危険のないように行っていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	6	1	0	勉強キライなので少しずつ勉強時間を増やしていきたくていてありがたいです。 職員によって知識と経験不十分さが目立ち過ぎるので、専門性のある支援を統一して欲しい。	お子様にとって大事な学びの機会を提供できるように今後も努めてまいります。 利用者の個別支援計画を中心に支援の提供を行うよう努め、職員による支援の質の差に関しては校舎で統一を図ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	5	1	0	支援プログラムをより具体的な説明をして欲しい。	支援当日に合った出来事を支援のフィードバック時に行っていますが、ご意見等を伺いできる機会を設けます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	5	0	0		支援計画更新の際に説明をするようにしていますが、ご不明点等があればご意見を伺えるようにします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	6	0	0		伝わり方の齟齬がないように努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	2	2	0	職員の知識不足が目立ち実際の支援にも活かされていないところを見ると、何のための計画なのか分からない。	納得いただき、安定した支援を提供できるように校舎内で話し合う場を設け、全員が把握したうえで過不足を補えるように努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	9	2	2	むしろ保護者の方から打診があって変わる事が多いため、もう少し事業所から提案や工夫があればいいと思う。	個別支援計画の更新や家族支援を通して、現在の支援提供の状況把握を行うとともに、支援課題の見直しを校舎で行い、支援提供していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	10	17	3	個別に支援していただいています。 これから予定してくれている。	地域に根ざした事業所となれるように努めてまいります。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	2	0	0		契約時にお伝えはしていますが、必要に応じてその都度説明してまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	2	1	0	ただ書類を渡されて名前と判子を押すように伝えられただけ。	説明を行い、同意を得られるように努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	14	4	3	もう何年も利用しているが家族支援が圧倒的に弱い傾向がある。	ご希望にそえるイベント企画を考えていこうと思いますので今後とも貴重なご意見をいただきたいです。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	35	1	1	1	子供への理解が足りていない現状なので共通理解までもない。	お子さんの理解に努めるとともに、子育てサポート加算や家族支援を活用しながらご家庭から見えるお子さんの姿などを共通理解してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1	2	1	とても親身になってくださってます。助けてくださっています。	定期的に相談しやすい場を設けられるように努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	3	1	0		支援を通してお子さんやご家族のご意見を尊重できるように子育てサポート加算や家族支援を提供できるように努めてまいります。

ハ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	13	10	8		ご希望にそえるイベント企画を考えていると思いますので今後とも貴重なご意見をいただきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	2	1	1	事業所内相談を希望していたにも関わらず予定日が確定されていない時があり、事業所の方からも話がなかった為こちらから再度申し入れをした事がある。	家族支援を提供する日程について月初に伺うようにいたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2	1	0		聞き取りにくい時や十分な時間でお話することが難しい時は文章や支援記録としてお渡ししたり、家族支援という形でそのご家庭にあった配慮をまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	7	3	4		保護者様へ月1回一斉配信しているLINEにてアンケート周知結果等をお伝えします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1	0	0		契約時に説明・同意をいただいております。個人情報を使用する場合にはその都度お伝えするようにいたします。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	7	1	5		玄関横の靴箱上にファイルを常時設置しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	8	3	12	避難訓練をいつしているのかすら知らない。	避難訓練については、月に1回個別支援の中で個々にさせていただいております。実施した結果についての周知をするようにいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1	1	4	身体的以外に心理的な安全確保はされていなかった事がある。子供に聞かせている内容かの判断すら出来ない職員がおり、事業所に伝えたがその後の対応も不十分だった。	事前に必要な情報を伺い、配慮した環境の中でお話ができるように努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	4	0	7		事故等が発生した時には、本人・保護者様へ謝罪と説明を行っております。ヒヤリハットに該当する際にも報告するようにいたします。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	1	0	0	慣れるまでとても親身になってくださいました。	必要に応じて指導員の固定を図りながら支援をさせていただいております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	5	0	2	以前担当だった人が児童発達支援管理責任者として円座校に戻って来てから、通所を楽しみにしている姿を見て保護者としても安心している。	安心・安全を第一に通っていただけのように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	5	1	0	勉強に少し親しみを持てるようになりました。これまで間違った対応をする職員を正す指導者がおらず事業所との関係も良好ではなかった。学校連携も断られたまま他の事業所を利用してはどうかとの提案もあり、こちらの話と噛み合わない事が多々あった。子供の気持ちが大事と言いながら、断れない事をあえて子供に聞くのは辞めてほしい。	お子様の社会参加や円滑の生活を送れることを第一に考え、必要に応じて連携等をご提案させていただきます。また、保護者様からの意向にお応えできるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」円座校		公表日		2025年 1月 14日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	・職員の出動人数に応じて同時2~4支援可能 ・こどもの状態に応じて担当を決めている	・職員が少なく感じるため指導員を増やしていく必要がある ・人事担当に依頼する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・場合に応じて模様替えや教材の入れ替えを行っている ・支援スペースの区切りは分かりやすい。玄関に段差があり雨の日に滑りやすいが滑り止めのマットを設置した。	・雨の日に滑りやすいため気を付けておく必要がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃を心がけている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・感覚過敏の利用者様に意図的に安心感をもてるように個室に案内することがある ・個室があり、緊張しやすい子や周りが気になる子に活用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・支援による反省や悩みをミーティングで共有、相談している ・毎日の朝礼・ミーティング・終礼をしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎年評価表を保護者に依頼しており、改善につなげている ・保護者の意見を把握できるように目を向けている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・職員間でミーティングで相談し改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・社内監査などでの評価を行い、業務改善につなげている	・現在、会社として行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部でも研修参加に積極的に行っている ・テーマ研修や虐待防止、感染防止の研修等を社内で計画的に実施している		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・保護者様へは毎回記録をお渡ししている	・来年から制度として支援プログラムの公表が導入されるため準備を進め、スムーズな実施を目指す	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・毎回保護者とその日のフィードバックや保護者からの話を聞く時間を設けており、その意見をもとに計画書作成に反映している ・保護者の話と利用者の状態の両方を踏まえ		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・最低でも6ヶ月に1回は行っている ・児童発達支援管理責任者と担当指導員で話し合いを行って計画を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画書作成時に全職員に回覧し、修正案など意見を出し合って作成し、計画書に沿った支援をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・子どもの日々の様子を観察しながら支援を行っている ・記録を具体的に書いている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・子どもに合った必要な項目に添った支援内容を行っている ・その時々々の状況を踏まえながら専門的な内容も含めて支援内容を考えている		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・ミーティングで支援の振り返りや気になる点を話し合う時間を設けている ・担当児以外のプログラムにアドバイスをすることもある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・利用児の状態や興味に合わせて活動内容を変えながら行っている	・固定されている支援もあるため、計画の見直しや支援内容の見直しを検討していく必要がある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・必要に応じて集団を組むが、個別を目的として利用している方が多い ・個別支援でも他児と関わる機会を設けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・記録だけでなく、口頭でも個別で支援の必要な部分をヒアリングして支援に臨む ・職員間でのミーティングや保護者からの意見をもとに気になる点があれば見直しを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・終礼にて必要な部分はその都度報告している ・職員間でのミーティングや保護者からの意見をもとに気になる点があれば見直しを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・欠かさず支援記録を入力し、次回の支援の際（間に合わなければ入力して次回）に紙面でお渡ししている ・記録の中に気になることや様子などを書き留めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年に一度モニタリングを行っている ・職員間でのミーティングや保護者からの意見をもとに気になる点があれば見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・利用者様の要望に合わせて4つの活動の中から組み合わせ せて支援をおこなっている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・こちらが答えを誘導することや、反対に答えをだしつばなしでそのままにならないような見通しをつけて選択肢の幅、決定を増やしている ・課題をいくつか用意して選択する機会を作り、お楽しみでしたいことを本児が選択できるようにしている ・子ども自身から気持ちの聞き取りを行っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管以外に可能であれば担当指導員も積極的に参加している。 参加できない時は情報の引きつぎをあらかじめ行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・保護者様からのご要望に応じて関係機関連携を行っている ・必要に応じて連携を行う	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・保護者様から学校の情報を共有していただいている ・適宜関係機関連携を行っている	・必要に応じて行事の共有ができるように準備しておく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・保護者様からのご要望に応じて関係機関連携	・年々、未就学の連携事例が増えているため必要であれば行っていきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・必要に応じて情報提供をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		・スーパーバイズや助言・研修を受ける機会が少ないため外部の研修等のお知らせを見ながら参加していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・交流がないため必要に応じて交流をする機会を作っていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・協議会への参加の連絡は来ている	・連絡は来ているが業務が詰まっております参加できていないことがあるため参加できるように業務調整を行っていく

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・支援後のフィードバックの時間や、支援見学いただく保護者様とは支援の中で現在の様子についてお話をする機会を設けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・支援後のフィードバックの時間や、支援見学いただく保護者様とは支援の中で現在の様子についてお話をして情報提供をしている	・ご家庭での様子を聞きながら家族支援プログラムの提案をさせていただくようにしていく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に丁寧に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・支援後の振り返りや、支援見学の際にお話をして意向を確認しながら進めている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・計画書のサインをいただく際、支援内容の説明を行い同意を得て行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者様との振り返りの時間や、必要に応じて事業所内相談の中で助言や支援を行っている ・担当だけでなく職員全体が利用者様を見守ることができるようミーティングにて情報共有と支援の体制を作ろうとしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	3	・事例検討会にて行っていることがある	・事例検討会等ではしているが、頻度は少ないためイベント企画をしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・必要に応じて事業所内相談や子育てサポートをとっている ・その場で返答できるものはお答えし、その場での返答が難しい場合には一旦持ち帰ってミーティングで共有し、管理者・児発管に相談して対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・月2回のブログ更新、LINE配信を行っている ・LINEの斉配信で1月ごとの空き状況の配信や災害時にはLINEでの斉配信に加えて当日支援予定の利用者様には電話連絡も行っている	・HPにブログを載せ、月初にLINEを送っているが知らない方もいらっしゃるためお知らせをしていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・PCや個人情報のファイルは鍵付きの書庫で保管している	
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・口頭だけでなく、紙面や筆談、オンライン面談等様々なツールを使用している ・危険な場所や注意点をイラストや文字で示すなど情報伝達の配慮をしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・地域に向けたイベントをあまり行っていないためイベント企画をしていく
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・社内の研修を受けている ・毎月防災訓練を利用者と一緒に行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・社内の研修を受けている ・毎月防災訓練を利用者と一緒に行っている	BCP計画見直しの時期となっているため見直しが必要がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・アセスメント時に聞き取りを行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・食品を使うイベントはほとんどないが、開催時には確認する	・基本的には食事提供をしていないが、服薬と合わせて聞いておく必要がある
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・社内の研修を受けて作成している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・事前に身体拘束の同意書を取っており、緊急で安全を確保するために身体拘束をする場合には、状況を説明して家族の同意を得ている	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・適宜ヒヤリハットを記入し、職員全員へ回覧し、再発防止策を話し合っている	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・社内で定期的に虐待防止研修が開催されている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・事前に身体拘束の同意書を取っており、緊急で安全を確保するために身体拘束をする場合には、状況を説明して家族の同意を得ている	